

下寺尾遺跡文化祭

体験・発表で国史跡知って

23日 3会場で開催

社会

「下寺尾遺跡文化祭」が10月23日（日）に開催される。会場はめぐみの子幼稚園園舎・同駐車場、七堂伽藍跡（下寺尾廃寺）公有地。時間は午前10時から午後2時まで。主催は小出地区まちぢから協議会、同協議会下寺尾遺跡部会が企画・運営。小雨決行。

同文化祭の開催は3年ぶり2回目。当日は見どころの一つである3団体による太鼓の演奏に加え、火起こしや勾玉づくり（限定40個）、竹細工、竹笛、古代衣装、ミニ電車など各種体験コーナー、紙芝居の巡回、缶バッジがもらえるクイズラリー、市内在住で地球音楽士の宗田悠さんによる演奏など内容盛りだくさん。会場ではマルシェやキッチンカーも並ぶので、舌鼓を打ちながらゆっくり会場を回ることができる。

同部会長を務める宇尾野政徳さんは「市北部にロマンのある遺跡がある。これを小出、茅ヶ崎の宝にするため、文化祭を通じて皆さんに遺跡を知ってもらい、今後の有効活用にもつなげたい。感染予防をして行うので多くの方に足を運んでもえられれば」と話す。イベントの詳細は「下寺尾遺跡文化祭」で検索を。

前回は600人が参加

小出地区下寺尾ではこれまで多くの遺跡が確認されており、2015年には古代の「下寺尾官衙遺跡群」が、19年には弥生時代の環濠集落として「下寺尾西方遺跡」がそれぞれ国史跡に指定された。同年、文化財保護法が改正され、未指定を含めた文化財をまちづくりに生かし、地域全体でその継承に取り組んでいく必要性が示されたことから、同まちぢから協議会が文化祭を開催。約600人が参加し継続開催される予定だったが、コロナで中止となっていた。



3年前の文化祭で行われた火起こし体験（上）と紙芝居（下）＝提供写真